

# 建築見学会 - 瀬戸内建築へのいざない



瀬戸内海歴史民俗資料館/山本忠司 設計



香川県立東山魁夷せとうち美術館/谷口吉生 設計



ジョージナカシマ記念館

瀬戸内海の自然に融合した資料館や、建築を引き立たせる家具の記念館などを見学します。瀬戸内海建築を満喫しませんか？ 男女問わず、どなたでも参加できます！

**日時：2019年2月9日(土)**

- 集合：三ノ宮駅周辺 7:50
- 解散：18:30 予定

※詳細は後日参加者に連絡します

**参加費：士会会員 4000円** (会員外 5000円)

- ※各館入場料を含む。定員 25名 (先着順)
- ※昼食代は別 (1000円程度)

## 香川県立東山魁夷せとうち美術館

日本画の巨匠、東山魁夷伯の版画作品を中心展示するこの建物は、美術館設計で世界的に有名な谷口吉生氏によるもの。東山画伯の祖父の出身地である櫃石島と瀬戸内海を望む場所に建てられた海辺の美術館。モスグリーンの石張りの外壁は、東山画伯の作品の色調にも通じ、シンプルで芸術性の高い建築であるとともに周辺の景観にも調和している。第12回公共建築賞・優秀賞を受賞



## 瀬戸内海歴史民俗資料館

石積みと打ち放しコンクリートで構築され自然に調和した山本忠司氏によるこの建物は、芸術家イサムノグチ氏とのインド旅行でその原型が誕生した。城壁のような外壁の安山岩は整地のために掘り起こした石を使った。回廊式の展示場には中庭やハイサイドライトからの自然光が差し込む。石工事を担当したのは後にノグチ氏のパートナーとなる和泉正敏氏。昭和49年度日本建築学会賞作品賞、第1回公共建築賞優秀賞を受賞。公共建築百選にも選定されている。



## ジョージナカシマ記念館

ジョージ ナカシマ記念館は、日系アメリカ人家具デザイナー・ジョージ ナカシマの生き方や、ものづくりに対する考え方、その哲学を、作品を通してたくさんの人に知ってもらいたいとの思いから生まれた。1930年代、レイモンド事務所で建築家として勤めていた時代に設計した軽井沢の聖パウロ教会の椅子など、約60点の作品を所蔵している。アメリカ、ニューホープの工房以外では、ジョージ ナカシマの作品を鑑賞できる場所として、世界で無二のところと言える。



**申込票** 兵庫県建築士会事務局：FAX 078-327-0887 e-mail：info2908@hyogo-aba.or.jp

氏名： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 支部) 連絡先 (携帯番号)： \_\_\_\_\_

FAX番号・メールアドレス： \_\_\_\_\_ 会員 or 非会員

CPD番号 (必要な方)： \_\_\_\_\_

●申込締切：1月25日(金) (キャンセル料：2月5日(火) からかかります)

●問い合わせ：士会事務局 (田中) 電話 078-327-0885

※東西アスファルト協会からの助成金の一部を活用し参加費を軽減しています。ぜひこの機会にご参加ください。